

子ども会壁新聞制作ガイド



福井県子ども会育成連合会
あわら市子ども会育成連絡協議会

地域の良さを発信しよう🎵 個性を伸ばそう🎵

今、住んでいる地域の良さって何？

近所にはどんな人が住んでる？

地域の名人、達人って知ってる？

地域の仲間といっしょにものづくりしよう♡

プレゼン能力も伸ばせるよ！



さんか 参加できるのは…

子ども会に入っている小学生

- ① 高学年の部（4～6年生）
- ② 低学年の部（1～3年生）

<例>小学6年生1名と1年生2名の場合は、高学年の部になります。

おうぼ 応募のしかた

出品

- (1) 作品はことし制作（せいさく）したもの。
- (2) 参加票（さんかひょう）をつけること。

部門

- (1) 子ども会の部
- (2) 個人・きょうだいの部

せいさく 制作についてのルール1

内容

子ども会や地域（ちいき）に関係あるもの。

表現

- (1) 平面作品で**手書き**。（ボールペンやマジックなど）
※絵具、墨汁、絵や写真、切り抜きなどもOK。
- (2) 「新聞名」「子ども会名」「作成した人の名前と学年」を書くこと。※作成者の名前と写真のセットなど個人を特定できるような書き方はしないでください。
- (3) **グループ（3人～6人が望ましい）で共同制作する。**

せいさく 制作についてのルール2

用紙

(1) 用紙の大きさ

子ども会の部 54cm×38cm (四つ切り画用紙)

個人・きょうだいの部 27cm×38cm (八つ切り画用紙)

(2) たて、よこ、縦書き、横書きなど・・・自由

※写真や絵などは、はがれやすいのでしっかりとはること。

審査のポイント(^_^♪

- ① 内容（ないよう）を工夫（くふう）してあるか。
- ② 楽しくわかりやすい書き方になっているか。
- ③ 見た目にきれいな仕上がりか。
- ④ 子ども会や地域（ちいき）のようすを
うまくあらわしているか。

ひょうしょう 表彰

高学年の部

特別賞（県子ども会行事で表彰）

最優秀賞

優秀賞

努力賞

低学年の部

優秀賞

奨励賞



作ってみよう 何から始める？ 1・2・3

1. グループをつくる（1グループ3～6人が望ましい）
2. 町内や地域（ちいき）の話題（わだい）やニュースを集める。
 - ・・・取材はおとなといっしょに！
3. 取材（しゅざい）に行く。
 - おとなの人（家ぞくや子ども会）といっしょに。

作ってみよう 何から始める？ 4・5・6・7・8

4. 何を載せるか決める。

取材したこと・ニュース・お知らせ・マンガなど

5. 新聞の名前を決める。

6. 用紙の使い方を決める。…タテ？ヨコ？

7. レイアウト（わりつけ）する。

…どの記事をどこにおくか。

8. 役わりを決める

…だれが何を書く？

みんなで書くのはどこ？

紙面に**かならず**入れるもの

- **新聞名** …内容と関連した楽しいなまえを
- **市町名** …住んでいる市町が分かるように

「子ども会名」や「制作者の名前」「学年」などは、
応募する部門によってえらぼう！

記事はどんなものが良い？

楽しい！

おもしろい！

きれい！

びっくり！

おいしそう～！

めずらしい！

ふっしぎ～！

わかりやすい
マンガ

歴史を感じるぞ！

これはよい記録だ！

こんな気持ちになったことならなんでも！！

題字は新聞の顔

『題字』・・・新聞の名前

『題字』・・・たてなが（縦長）で右上が多い。

きまりは特にない。

★全体のバランスが大事 (☒⊙ > ∪ < ⊙)

ちゃんと読んでもらうために 1



読みやすく「み力」のある壁新聞にしあげよう！

そのための6個の試練 ★1~★6とは

★1. わかりやすい文章にしよう。

いつ、どこで、だれが、何を、なぜ、どのように (5W1H)

★2. 「見出し」を工夫しよう！

見出しのことは、色、大きさを工夫して読者を引きつけよう

見出しの
コツ

見出しのコツ ①▶②▶③▶④

- ① ひとめで、どんな記事か予想（よそう）できる。
- ② 見出しの大きさで、記事の大切さがわかる。
- ③ 見出しのことばで・・・
 - 「おやっ？」と思わせる ▶▶▶ 記事へ
 - 「アッ！」と思わせる ▶▶▶ 記事へ
- ④ 見た目でも引きつけるものにしよう。

ちゃんと読んでもらうために 2

- ★3. 段組みの横線(ケイ)を入れて読みやすくしよう。
- ★4. 調べたことを表やグラフで表そう。

写真もいいね👍



ちゃんと読んでもらうために 3

★5. 色をうまく使おう。

- 紙の色は？ 見出しの色は？
- 色がついた紙に記事を書く場合は…
たとえば「青地に黒文字」は読みづらいよ。

こどもかい

こどもかい

★6. 文字のレタリングを意識しよう。

みほん みほん みほん みほん

文字のレタリングはむずかしいけれど

目立つし、印象（いんしょう）もぐっと良くなりますよ。

「レタリング」とは、

文字をデザイン
すること

ここからは上級編です

①新聞記事の仕組み

②人の目の動き

から壁新聞作りを考えます

理解を深め できそうなことから やってみよう

もっともっと読んでもらうために 1

① 『見出し』 を読む…見出しの工夫で新聞を3回読ませる!?

読み手をひきつける工夫とは 「使う言葉」「色」「字の大きさ」

② 『リード』 を読む…前文（まえぶん）ともいう。

記事の内容を短くまとめたもので大切

トップ記事には使ってみたいね。

③ 『本文』 を読む

リードの内容をくわしく書いたもの。



…ここまで読んだら大成功♥

実は、5年生で学習するよ

新聞記事は

始めに

(1) 伝えたいことを短く「見出し」で示し

次に

(2) リード文で記事のあらましを知らせ

最後に

(3) くわしく出来事を伝える

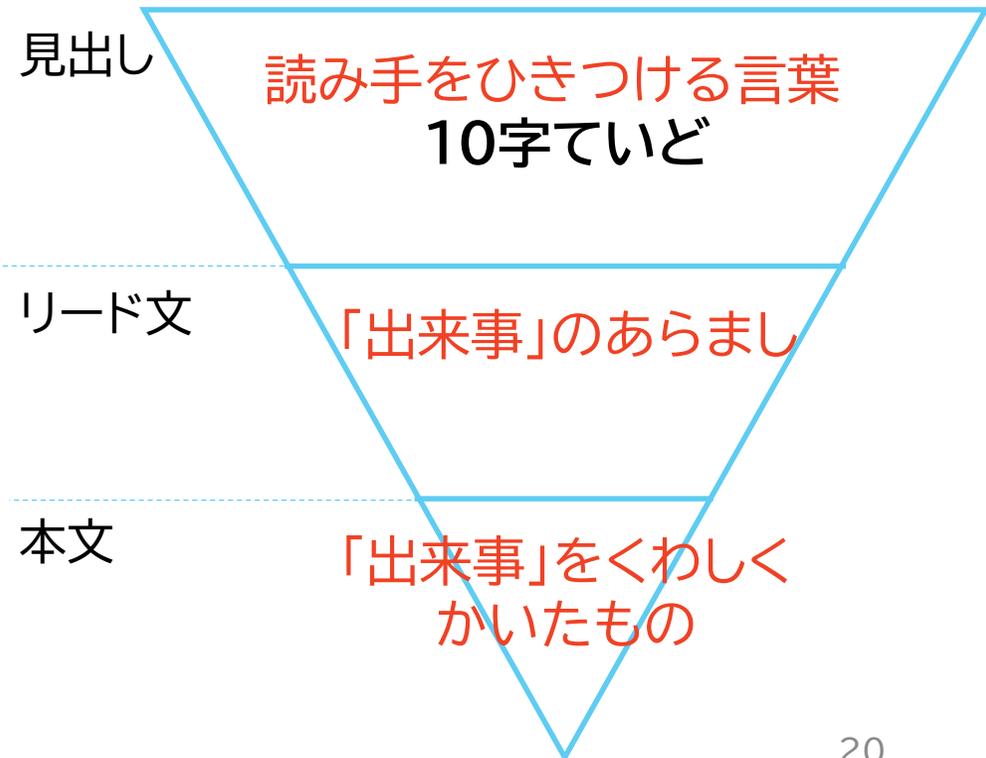
という構成(作り方)になっています。



● 見出し

● リード文

● 本文



もっともっと読んでもらうために 2

「かこみ」とは
記事をケイ線でかこんで独立させる工夫のこと

「かこみ」を使うと

- 記事が目立ようになる

つまり

- 引き立ちやすく
(目につきやすく) なる

ただ線でかこむのではなく、
バスの形の「かこみ」が面白いね。



もっともっと読んでもらうために 3

壁新聞はレイアウトで決まる!!

◎レイアウト（わりつけ）

…紙面のどこに、どの記事をおくか？

★「よい」「わるい」のきまりはない。

★「読みやすさ」を第一に決める。読者を迷わせないこと。

例) 小さい紙に記事を書き（下書きでもOK）、紙面上で仮に置いて「読みやすい」レイアウトを工夫できる。

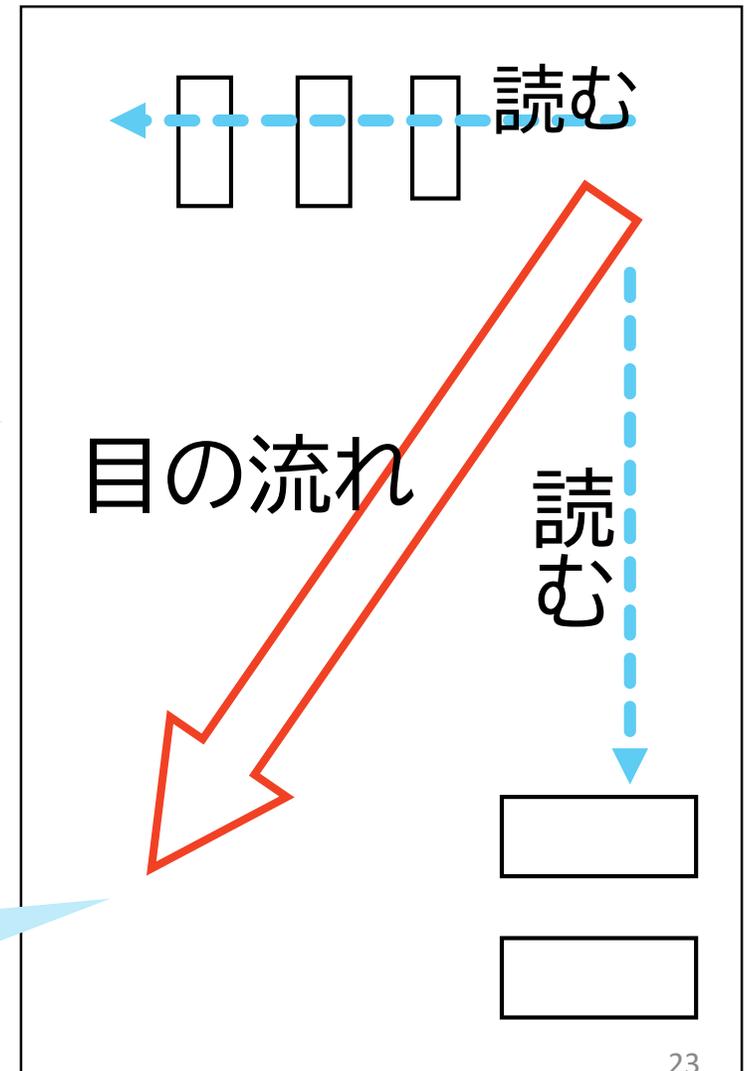
目の流れはななめ!!

目の流れに合わせて

レイアウトを工夫しよう!

2つの読む方向（青線）があるよ😊

2つが合わさって
目はななめに進むんだ😊



目の流れを生かそう

目の流れは「X字型」

力点1 ⇒ 力点2 ⇒ 力点3 ⇒ 力点4 ⇒ 力点5

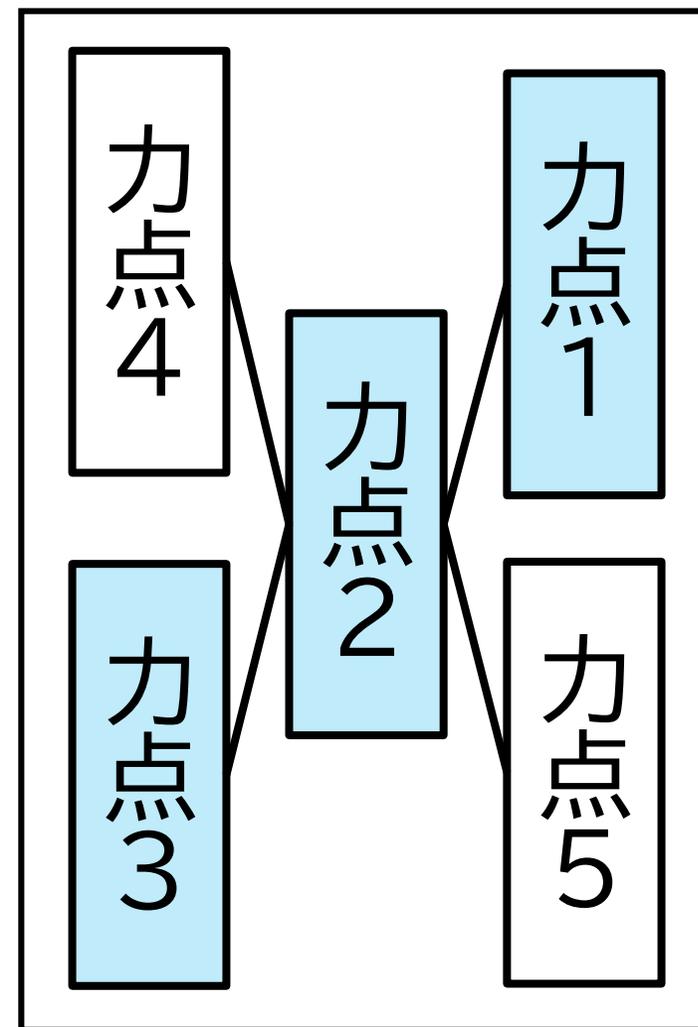
なので、

「力点1」…一番大事な記事

「力点4」「力点5」…目立たない

いちばん読んでもらいたい記事

…あなたはどこに書きますか？



もっともっと読んでもらうために 4

アップとルーズで伝えよう!!

※4年生で学びます

ルーズ	アップ	
広い範囲 の様子	細かい部分 の様子	伝えられること
顔つきや視線 気持ち	写されていない 多くの部分	伝えられないこと

Diagram illustrating the relationship between 'ルーズ' (Loose) and 'アップ' (Close-up) in photography. The diagram shows four quadrants with arrows indicating transitions and a central 'X'.

- Top-Left (Loose, Broad range): 広い範囲の様子
- Top-Right (Close-up, Detailed parts): 細かい部分の様子
- Bottom-Left (Loose, Facial expression/line of sight): 顔つきや視線 気持ち
- Bottom-Right (Close-up, Many parts not written): 写されていない多くの部分

Arrows and transitions:

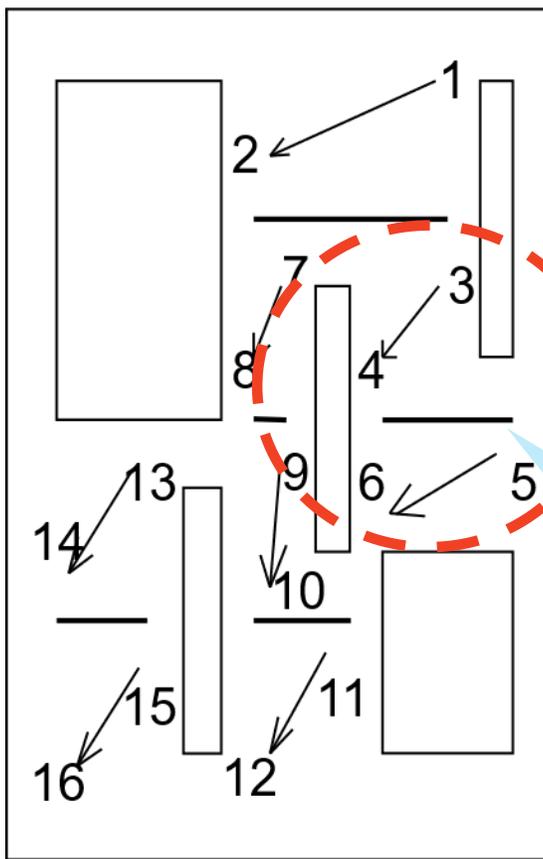
- Horizontal arrows: 左から右へ (Left to Right) and 右から左へ (Right to Left), both labeled **しかし・でも**.
- Vertical arrows: 上から下へ (Top to Bottom) and 下から上へ (Bottom to Top), both labeled **しかし・でも**.
- Diagonal arrows: 左上から右下へ (Top-Left to Bottom-Right) and 右下から左上へ (Bottom-Right to Top-Left), both labeled **しかし・でも**.

写真には
「伝えられること」と
「伝えられないこと」がある

写真を使う時
写真をとる時
アップとルーズを意識できるといいね。

『段(だん)ケイ』を入れると…

図 A



左の新聞で目の流れ3～6を追うと…

★見出し・カコミ等にぶつかると右下へ。

★段ケイにぶつかると右下へ。

この線が「段ケイ」
・・・目の流れを決めます。

『段(だん)ケイ』を入れないと…

図 A

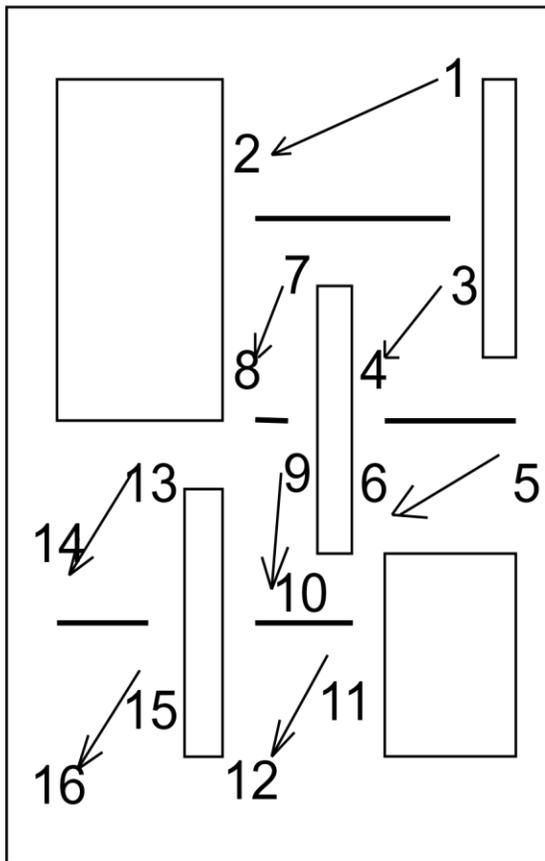
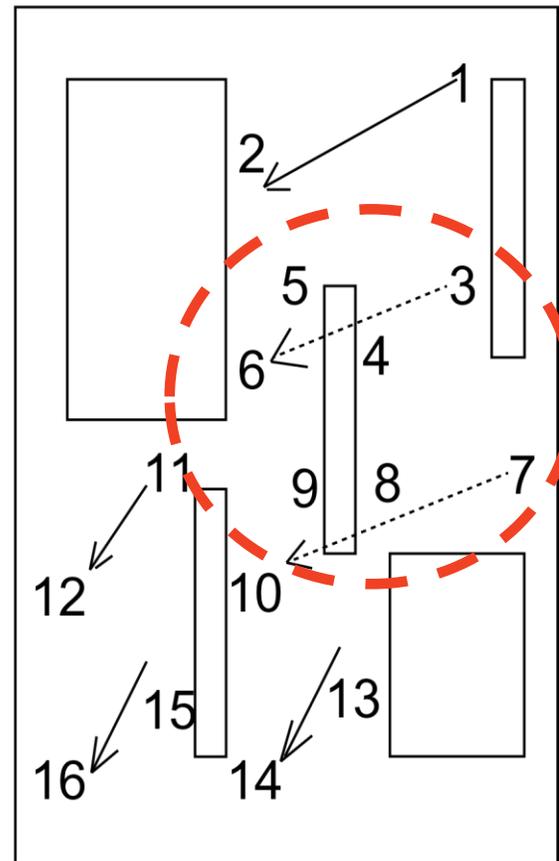


図 B



図B (『段ケイ』なし) では見出しを飛び越えて読み進むことができる。

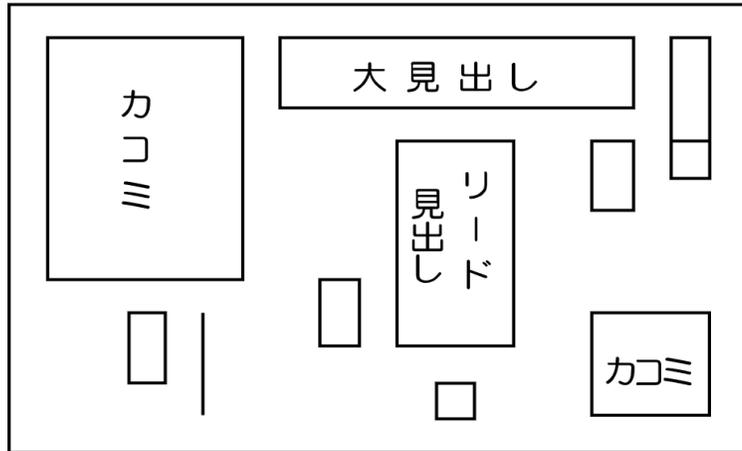
「段ケイ」をうまく使おう。

見出しのコツ

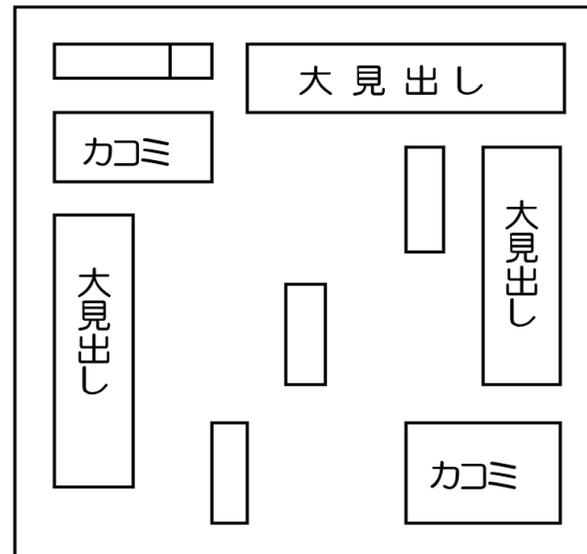
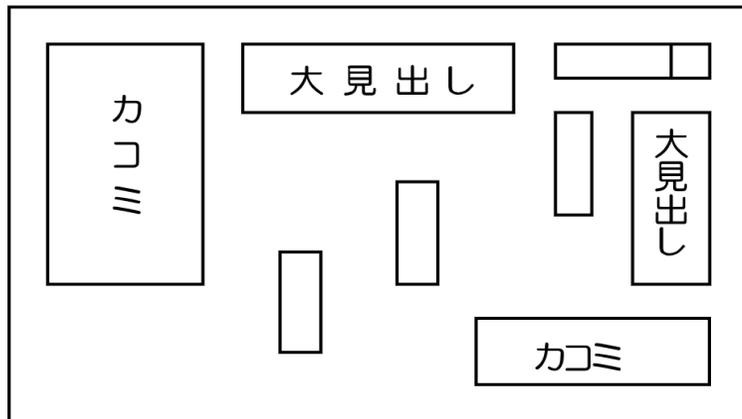
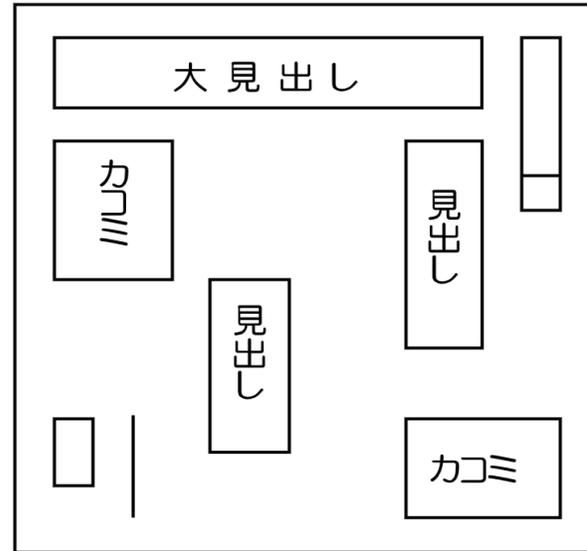
スペース（間）は
思い切ってとる。

見出しで読者を
引きつけて、
本文を読ませられたら
大成功！

横版の例



縦版の例



あくまでも参考です